

3 - 4 形態観察の方法

外観観察は、はじめに行うものであり、混入状況、付着物の状況を確認やクレームの場合は状況が一致しているか確認する。肉眼、実体顕微鏡やデジタルマイクロスコープ、光学顕微鏡などで観察する。

観察時は、大きさ、色、光沢、表面の凹凸などの形状、弾力、硬さ、重さ、厚さ、特徴的な構造、組織の確認などを観察する。

異物の中で虫や菌・微生物、毛髪などは、観察のみで判定できる。観察のみで判断できない異物においても、表面の傷や切断の様子、付着物の状況などを観察することにより、混入状況などの情報が得られる場合もある。

※簡易デジタルマイクロスコープについて

高価なマイクロスコープ以外に、パソコンに USB 接続可能で比較的安価（数万円）な簡易デジタルマイクロスコープが市販されている。異物観察に必要なスペックとしては、以下があげられる。

- ・解像度 1280×1024
- ・倍率 10－230 倍
- ・偏光機能付き（白とびを抑えるため必須）
- ・PC ソフトウェア付き